

令和7年度 五十沢小学校 1学期 国際科に関する評価（アンケート結果 抜粋）

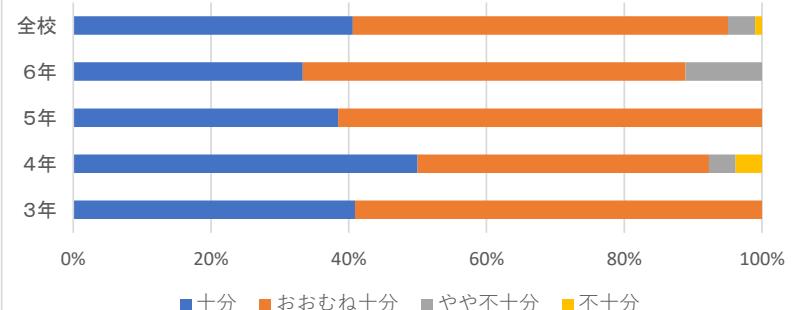
保護者アンケート

お子さんは、外国のことに関心をもち、国際科の学習に進んで取り組んだ。

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	全校
十分			9	13	10	9	41
おおむね十分			13	11	16	15	55
やや不十分			0	1	0	3	4
不十分			0	1	0	0	1
肯定割合			100.0	92.3	100.0	88.9	95.0

R6前期 88
R6後期 90

保護者「お子さんは、外国のことに関心を持ち、国際科の学習に取り組んでいる」



児童アンケート

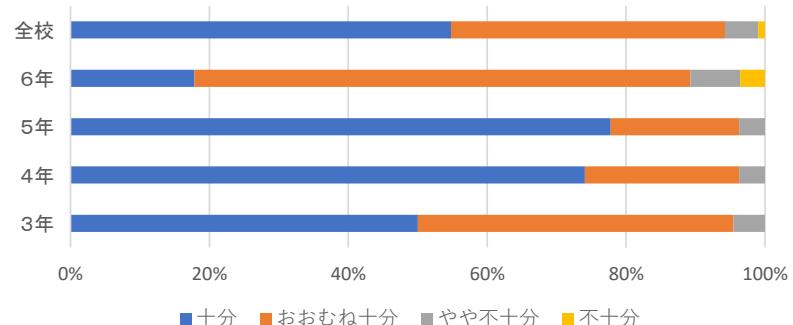
外国のことに関心をもち、国際科で友達や先生方と関わった。

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	全校
十分			11	20	21	5	57
おおむね十分			10	6	5	20	41
やや不十分			1	1	1	2	5
不十分			0	0	0	1	1
肯定割合			95.5	96.3	96.3	89.3	94.2

学校運営協議会

英語で対話をする授業を参観し、いきいきと明るく話す姿にが素晴らしい。これまでの積み重ねと成果が現れている。

児童「外国のことに関心をもち、国際科で友達や先生方と関わった」



南魚沼市では、教育特区として「国際科」を取り入れ、外国語活動、外国語科、国際理解、国際交流の学習を推進しております。

五十沢小学校では、低学年は、国際交流を含め10時間で、生活の中の身近な単語や簡単な表現を学習します。中学年は「外国語活動」として、音声を中心に英語を使って様々な活動をしながら英語の慣れ親しむことを目標とし、40時間行っています。高学年については、「外国語科」として他教科と同様に行う他に国際交流を含め75時間行っています。

五十沢小学校の「国際科」は、教科書の題材をもとに、学習した英語で交流する場面をゴールの活動に設定したり、ICT学習端末を活用したりして、必要感のある学習となるよう工夫しています。さらに、2学期に「国際交流会」として市内にある国際大学の学生をゲストに招き交流会を行います。(中学年は1学期に行いました。)国際交流会等の場面で学習した英語が外国のゲストに通じる喜びを得られるよう、授業構成を工夫しています。国際理解教育、国際交流会、外国語活動は1年生から行い、会話を取り入れた学習を取り入れた双方向の学習となるよう工夫するとともに、臆せぬ関われる態度を大切にして活動しています。

今年1学期の学校評価では、保護者、児童ともに、肯定的評価が高い状況です。6年生では、英語を使った発表やスピーチを多く取り入れた授業だったので、全体の前で話すことへの恥ずかしさを感じる児童がいたことで、少し数値が下がったと考えられます。